

荻野 楓子 OGINO Fuko

専門分野	美学、パフォーマンス	
学位	学士（造形）	2019年3月取得
	武蔵野美術大学 造形学部 基礎デザイン学科 卒業	
着任年月日	2021年4月1日	
教育理念・方法	<p>大学は誰かが誰かを一方向的に教え諭すところではなくて、或る磁力のもと集合し、そのまま一緒に浮遊しながら進む(移動する)ようなところではないか.年齢の関係ない磁場で、刹那的に様々な人と出会う場所である.同時に、卒業後拠り所(それは灯台のような目印)ともなる。「磁力で得た縁を大事にすること」「灯台の研究室となること」今の立場で目標とできるのはこの程度である.しかしこれは、例えば「オンライン/オフラインどちらが教育的に良いか」という問題を超越論的に捉える.時代に揺るがされないタフさを目指す.</p>	
2021年度 教育・研究目標	<p>研究目標：          研究のキーワードに「機能」「境界」を据えて①マックス・ビルの彫刻作品『Kontinuität (Continuity)』とジル・ドゥルーズの内在性の比喩の相違点/類似点を比較すること②境界に関する考察Ⅰ,Ⅱ(随筆)を加筆・拡大すること を目標とする.          ①に関しては内在に対する外在というわけではなく、オートポイエーシスの生成され現れることを具体的な実践を交えて進める.ともすれば、線的境界は想像され得ない.②境界に関する考察Ⅰ,Ⅱは境界について気づいたことを100篇を目標に目下進行中のエッセイ.いずれも完成は短期目標(2021年度中)であり、助手・助教展(仮称)での発表を目指す.          本校の研究紀要の応募も視野にある.</p>	